

五高新聞



「小さな社会」で磨く、多様性という名の知性

校長 杉森 晋

第169号
(令和8年6月1日)
五所川原高等学校
編集委員会
青森県五所川原市
字中平井町3の3
☎35-3073

若い頃、担任をした卒業生の就職先での様子を伺うため、ある企業を訪問した際に、長年経営の第一線で指揮を執つてこられた社長から、非常に印象深い言葉をいただきました。

「先生、会社というのはね、東大生だけがいても成り立たないんですよ。計算が驚くほど正確な人、手先が器用で職人気質な人、大胆な計画を立案し執行する人。性質の異なる様々な人がそれぞれの持ち場で力を発揮するからこそ、組織は回り、会社は成り立つんです。」

この言葉は、偏差値やテストの点数といった単一の指標に囚われがちな私たちに、大切な視点を与えてくれます。私たちは得てして、自分と似た考えを持つ人や、同じような価値観を持つ人と一緒にいることに安らぎを感じます。逆に、自分とは異なる意見を持つ人を「理解できない存在」として遠ざけたり、排除したりしてしまいがちです。しかし、ここに落とし穴があります。確かに、考え方の似た仲間からは「共感」が得られるでしょう。それは心の支えになります。しかし、自分と全く異なる

視点を持つ人からは、自分一人では決して到達できなかった「教訓」や「気づき」が得られるのです。異なる価値観との衝突や対話こそが、人間の知性を最も刺激し、成長させてくれる栄養素に他なりません。

今皆さんが過ごしている学校という場所を「小さな社会」と捉えると、卒業後に皆さんが飛び込んでもいく実社会は「大きな社会」となります。皆さんが「大きな社会」で働くようになると、学校生活とは比べものにならないほど多様な人々と触れ合うこととなります。

そこには年齢、職種、役職はもちろん、収入額、思想信条、育ってきた背景など、ありとあらゆる違いが存在します。もし、自分と属性や考え方が違うからという理由で「上手く付き合えない」と背を向けたり、排除しようとしたりすれば、たちまち社会の歯車は止まってしまおうでしょう。それぞれろか、あなた自身の居場所さえも失われてしまいます。私たちは、多様な人々との間に信頼関係を築き、互いの強みを活かしながら生き抜いていかなければなりません。それが「自立した大人」として社

会に参画するための最低限のルールです。

私が学校運営の柱として掲げている「楽しい学校」とは、単に仲良く楽をすることではありません。自分とは異なる存在を、自分を成長させてくれる不可欠なパートナーとして認め、その違いを面白がる「知的なタフさ」を持つこと。

そして、多様な個性がぶつかり合い、化学反応を起こす中で新しい価値を生み出す、そのプロセスこそが、本来の「楽しさ」であると信じています。

この学校という「小さな社会」は、そのための絶好の訓練場です。教室で、部活動で、あるいは行事の議論の中で、自分とは違う意見に出会ったとき、それを排除するのではなく「なぜそう考えるのか」に耳を傾けてみてください。本校で学ぶ皆さんが、高い学力だけでなく、多様な価値観を受け入れる「心の器」を養い、この「小さな社会」での学びを存分に楽しんでほしい。そして、将来「大きな社会」を支え、自ら人生を切り拓いていくたくましいリーダーへと成長していくことを切に願っています。

部活動について - 部長による部活動の抱負 -

運動部

男子バスケットボール部

(31HR 笹森 光希)



男子バスケットボール部は県ベスト4を目指して練習試合や遠征などを通して見つかった課題と向き合って日々練習に励んでいます。高校総体まで限られた練習を大切に最後まで諦めずに戦い抜きます。応援よろしくお祈りします。

硬式野球部

(34HR 永田 晋)



硬式野球部は夏の甲子園予選ベスト8を目標に練習に励んでいます。オフシーズンに入る前に全員でスローガンを考え直し、冬の厳しいトレーニングを乗り越えました。新たな部員を迎え、7月の大会までチーム一丸となり頑張ります。応援よろしくお祈りします。

文化部

演劇部

(31HR 中村 珠李)



演劇部は、一年を通して多くの舞台に立ちます。舞台に立つ役者だけでなく、照明や音響、脚本に演出と裏方として、部員全員でひとつになれる瞬間は、私たち演劇部の醍醐味だと思っています。もし演劇に興味があれば、いつでも見学待ってます！

自然科学部

(34HR 佐々木凜太郎)



自然科学部は化学班と生物班に分かれて研究に取り組んでいます。日々試行錯誤を重ねて、高総文祭での発表に向けて内容を深めています。また、科学の甲子園での上位入賞を目指し仲間と協力して活動しています。

令和8年度 新任職員への インタビュー

- ①前任校・担当教科
- ②趣味・特技
- ③高校時代の思い出エピソード
- ④メッセージ



杉森 晋先生

①尾上総合高校、理科(生物)

②家庭菜園づくり(農業は難しく楽しい)

③80's洋楽にハマり、新作LPレコードを抱えながら登校するのがカッコいいと思いついてきました。

④あつという間の高校生活ですが、還暦間際でもあの頃を覚えています。生徒の皆さんも濃密な高校生活を精一杯楽しんでください。



宮重 太一先生

①八戸西高校、数学

②趣味…スポーツ観戦、庭(芝生)いじり 特技…スケート

③高校時代を思い返すと「野球部」のことばかりが頭に浮かびます。年末年始とお盆少ししか休みはありませんでした。五所川原での大会(試合)は負けたことがないので、五所川

原は縁起がよい土地です。大会から帰ると単元の半分以上が終わっていたことが多々あり、授業は…。数学だけ、なんとか頑張りました。

④生徒の皆さんはいい顔をしているなと感じています。生徒の皆さんや教職員の皆さんとともに成長できるように頑張りたいと思います。よろしくお祈りします。



島元 力先生

①弘前中央高校、地理歴史

②飲食
③毎日の学食が楽しみでした。
④よき高校時代になることを祈ります。



西村 勇士先生

①青森中央高校、理科(生物)

②サイクリング、自宅のDIYリフォーム、ポイ活
③春休みにテニスコートの雪かきをして、風邪をこじらせ最



相馬 真先生

①木造高校、理科(生物)

後の地区予選に出場できなかったこと。みなさん、大会前の体調管理は大事です！
④新校舎ができるのを見とどけたいです。

②You Tube 視聴
③部活にあけくれていました。
④皆さんと一緒に頑張って頑張ります！



瓜田 貴子先生

①鯉ヶ沢高校、英語

②飼い猫と遊ぶことが好きです。特技はありません。
③古坂大魔王が私の1学年下でした。(直接的な関わりはありませんが)。
④明るく勉強意欲のある生徒ばかりでこちらのやる気も高まります。



柘植 武夫先生

①黒石高校、数学

②スポーツ観戦、読書、走る



葛西 隆先生

①県立図書館、国語

③覚悟を決めて、もっと勉強すればよかったなあ。
④決めるのは志望校じゃない、〇〇だ！

②読書(としておきます)
③ぼんやり過ごしていました(いろいろな挑戦すべきでした)。
④違いは優秀ではありません。いろいろ人と接し、自分なりに試行錯誤し、わからないことは聞いて、自分で決める経験をたくさん持ちましょう。



奈良 文生先生

①青森県庁 地域交通・連携課、数学

②趣味 家のメンテナンス
③何事にも全力で挑んだ日々。なかでも弘高ねぶた制作に捧げた情熱は、今思い返しても驚くほど強烈なものでした。
④私自身、公私にわたりご指導を賜りました尊敬する先生方が、歴史を築いてこられた本校に勤務できることを深く光栄に存じます。生徒一人ひとりの成長を支えるべく誠心誠意努めて参ります。



高村 裕彦先生

①青森県総合学校教育センター、理科(化学)

②スポーツ(特にバスケット)
③部活(バスケット)ばかりでほとんど勉強していなかったと思います。さすがにやばいと思います。ある時間に内職をしていたら、先生が近づいてきてやばいと思つたら、前の生徒が指導されていました。
④久しぶりの学校現場で授業もままならないと思いますが、早くペースをつかめるように頑張りたいと思います。よろしくお祈りします。



田中 孝幸先生

①青森県総合学校教育センター、理科(物理)

②旅、植物を育てること、野球?等
③野球三昧の日々でした。
④一日一日を大切にしながら、楽しく過ごしていきたいでしょう。よろしくお祈りします。



- ②サウナ、筋トレ
- ③高校最後の大会で熱中症にな



中村 港先生

①七戸高校、保健体育

- ②ガーデニング・展覧会巡り
- ③吹奏楽部で各種コンクールやマーチングに励んだことが思い出です。
- ④皆さんの歌ってくれた校歌に心を打たれました。これから始まる皆さんとの日々を楽しみにしています。どうぞよろしくお願いします。



小山 雅子先生

①弘前実業高校、書道

- ②音楽鑑賞、ギター
- ③礼拝の時間のパイプオルガンの音色は格別でした。また聞きたいですね。
- ④よろしく願います。見かけたら気軽に声をかけてください。



佐々木俊雅先生

①木造高校、理科(化学)

- ①東芝ビジネスエキスパート株式会社 最終学歴は工業大学
- ②釣り(今年の目標マグロの50kg?)
- ③担任の先生によく怒られていました。
- ④生徒の皆さんには、小さなワクワクすることを実践してほしいと思います。



SSHコーディネーター
濱田 篤さん

- ②趣味・サウナと車いじり
特技・サッカー
- ③毎日友達と遊んでました(笑)
- ④まだ分からないことが多いですがよろしく願います。



伊藤 光陽さん

①新規採用です。昨年まで仙台の方で学生していました。

り、救急車で緊急搬送され、テレビのニュースになった。
④勉強、部活、遊び、全てを欲張りに頑張るみなさんを応援しています！
五所川原のオススメサウナあれば教えてください。

全校生徒へのメッセージ



生徒会長
35HR
其田 廉介

生徒会会長を務めている35HRの其田廉介です。生徒会では主に学校の行事の企画運営を行っています。また、昨年度は学校でのスマートフォン使用についてのルールを改善するために頑張りました。全校生徒の意見を取り入れるためにアンケートを作成し集計して、生徒会規則に則ってHR委員長や委員長とも話し合いそのあと原案を作成して先生方や保護者と五高サミットで話し合い、意見を組み込んでまた案を作成して職員会議に出してもらって許可をもらい今年度から使えるようになりました。みなさんが思っている以上にスマホの校則を変えるのは多くの段階を踏まないといけなかったためとても大変でした。ですが、生徒会はこのからも全校生徒の学校生活がよりよくなるように頑張っていきます。些細なことでも頼ってくれたら嬉しいです。これからも生徒会一同よろしく願います。

SSH体験記

東北地区サイエンスコミュニティ
研究校発表会の感想



35HR
高橋 和成

山形県酒田市で行われた東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会に行ってきました。記録的な大雪の影響で以前から予定されていた経路からは何度も変更せざるを得ず、前日の予報では新幹線が動くかどうか危ぶまれる状況でしたが、当日の朝は奇跡的に晴れて無事に出発できました。発表会は2日間行われ、1日目は参加している17校の学校紹介と、山形県を拠点として事業を行っている講師の方の講演がありました。特に講演はユニークかつ興味深い内容で感動しました。「茶色い宝石」という響きが素敵で印象に残りました。
2日目は本題のポスターセッションがありました。各校の個性が光る研究が多く、その土地ならではのテーマや、企業と協力した研究など、そのレベルの高さに刺激を受けました。大学の教授や初めて会う他校の生徒さんと活発に議論を交わすことができ、とても貴重な体験になりました。この体験を今後活かしていきたいです。

五高の一年



五高祭

五高祭は、全校生徒が最も楽しみにしている行事の一つです！1年生は華やかな装飾、2年生は工夫を凝らしたクラス別展示、そして3年生は毎年大人気の模擬店を担当します。他にもステージ発表など盛り沢山です！今年も皆さんで最高の2日間に行きましょう！ (31HR 田附 瑞葉)



立佞武多

生徒が一丸となって盛り上げる五高の夏の伝統行事「立佞武多」。毎年制作される中形立佞武多！学年別の元気な踊り！元気な「ヤッテマーレ！ヤッテマーレ！」という掛け声！そして生徒によるお囃子で、五所川原の夏をさらに暑く、そして「熱く」盛り上げます！ (21HR 山本汰偉牙)



修学旅行

教室では学べない4泊5日の思い出をつくる修学旅行。USJ、自主研修を通し、“非日常”な体験もできます。高校生活最大の思い出になること間違いなしです！素敵な思い出を詰め込んでください！ (32HR 長尾 橋杏)



芸術鑑賞教室

芸術鑑賞教室は毎年10月ごろに行われる学校行事です。行われる公演は毎年異なっていて、音楽や狂言などを鑑賞することができます。普段の授業とは違う様々な芸術を鑑賞し、本物の芸術を体感できる芸術鑑賞教室は、生徒の楽しみとなっています。 (21HR 山本 陸翔)



高校総体

日々の練習で、仲間と共に培った力を発揮する高校総体がいよいよ始まります。3年生にとっては、これまでの集大成となる最後の大会です。私自身も選手の一人として、仲間と過ごした時間を信じ、実力を存分に出し切れるよう精一杯戦ってきます。1・2年生も、3年生と共に全力で立ち向かいましょう。選手一同、最高のパフォーマンスを発揮してきますので、応援よろしくお願いします。 (34HR 古川 琉偉)



運動会

毎年恒例の運動会が開催されます！障害物を颯爽と駆け抜ける様子や、手に汗握るみんなの魂を賭けた勝負を私としてもとても楽しみにしています！夏の暑さにも負けない元気で根性で五高魂を魅せていきましょう！ (24HR 齊藤 碧人)



遠足

遠足は毎年10月頃に行われる学校行事の一つです。友達とバスでお菓子や現地で美味しい食事を食べたり、普段は見れないものを見れたり、思い出を残す機会になること間違い無いでしょう！なので勉強のことなどは一旦忘れ、「楽しむ」ことだけを考えて楽しんでください！ (23HR 福田 蒼介)



編集委員長
35HR 坂本 藍香

皆さん、今回の五高新聞は楽しんでいただけましたか。本校には多くの魅力があり、本紙を通してその一端を感じていただけたなら幸いです。また、一年間の出来事を振り返り、思い出をよみがえらせるきっかけとなっていれば嬉しいです。今年度も全校一丸となって盛り上がっていきましょう。

発行にあたり、ご協力いただいた先生方や生徒の皆さんに心より御礼申し上げます。編集委員では今年度の目標として、「一筆入魂」を掲げ、全校に届く良い記事を目指し、一つひとつの文章に思いを込めてまいります。三年生の編集委員にとっては本号が最後の活動となりますが、これまでの活動を通して多くのことを学び、貴重な経験をさせていただきました。

一・二年生の皆さんは、これからより良い紙面づくりを目指して頑張ってください。今後ともご協力をよろしくお願いたします。

編集後記